平成30年2月23日

研修報告書

氏名：西﨑　直人

所属：順天堂大学医学部附属浦安病院小児科/地域周産期母子医療センター

研修期間：平成　28年9月　日　～　平成　年　月　日

研修場所：東京女子医科大学附属遺伝子医療センター

受講動機：私は日々の診療で小児腎疾患、周産期新生児医療を専門に行っています。いずれも遺伝性疾患（アルポート症候群、腎性低尿酸血症、等）、染色体異常児（トリソミー21を代表とする種々の染色体疾患）、病的母体からの出生児（筋強直性ジストロフィー母体児、等）を診療する事が多く、またこれら疾患の遺伝情報を中心にご両親への正確な情報提供とその後のご両親の心理面へのアプローチも必須となります。そのような状況下で私の普段の所属施設では未だ臨床遺伝専門医が少ないために臨床遺伝を勉強させて頂き、臨床現場に還元できればと思い受講を希望いたしました。

研修内容：

火曜午後：遺伝カウンセリング、小児科外来に陪席

不定期：遺伝子医療センター主催・月例会でレクチャー、講演会参加

研修成果：私は東京女子医科大学附属遺伝子医療センターの外来陪席を中心に臨床遺伝専門医の先生方の患者対応、病状説明、心理的配慮など実践を通じて勉強させて頂きました。模擬ロールプレイとは異なり、実際の患者さんの反応を見ることが出来て大変勉強になっております。また研修施設には神経・筋疾患、新型出生前診断（NIPT）、原因不明の小児発達障害などの患者さんが多く、私のこれまでの臨床経験と通じるところがあったことも研修意欲を高め、また新しい知識の習得に大変役立っていると思います。NIPTに関しては初回のカウンセリングを臨床遺伝専門医の先生のご指導の下、実際に経験させて頂き、NGSDインテンシブコースを受講してこのような機会に恵まれたことを嬉しく思っております。

その他（感想・要望・反省点、等）：引き続き外来陪席の経験を積んでいきたいと思います。もし機会を頂けるのであれば遺伝カウンセリングを積極的に行いたいと思います。